

2026年3月5日  
NTTアノードエナジー株式会社

## 「F 臼杵および F 臼杵Ⅱ太陽光発電所」における 太陽光発電所併設蓄電池の FIP 制度に基づく運転を開始

NTTアノードエナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岸本 照之、以下、NTTアノードエナジー）は、大分県臼杵市で稼働するF 臼杵太陽光発電所およびF 臼杵Ⅱ太陽光発電所に蓄電池を併設し、両発電所をFIT<sup>※1</sup>（Feed-in Tariff：固定価格買取制度）からFIP<sup>※2</sup>（Feed-in Premium）制度へ移行し、2026年2月よりFIP制度に基づく運転を開始しました。

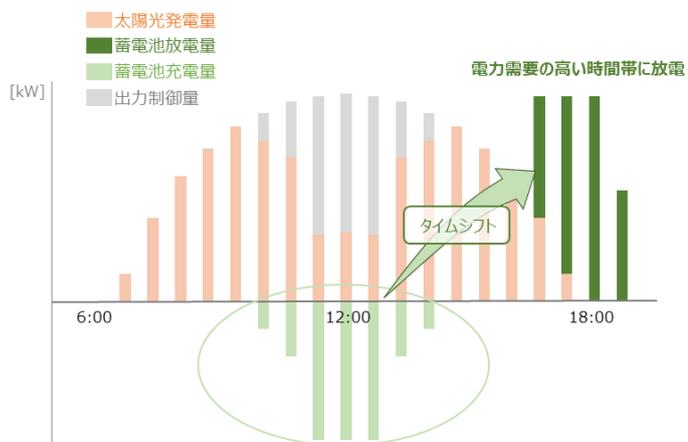
### 本事業の背景および取り組み概要

NTTアノードエナジーは、既設の太陽光発電所に蓄電池を併設し、これまで出力制御の対象となっていた時間帯の電力を一時的に充電し、電力需要が高い時間帯や市場価格の高い時間帯に放電・供給することで、再生可能エネルギー（以下、再エネ）の有効活用を進めていきます。電力需給バランスの不一致や系統混雑（送電容量の制約等）に起因する出力制御により、発電電力量が十分に活用されないという課題の解決に取り組み、電力の安定供給に寄与してまいります。

NTTアノードエナジーは、自らアグリゲーターとして電力市場取引および併設蓄電池の充放電制御を実施し、電力需給や市場価格に応じた電力のタイムシフトを実現することで、電力の安定供給と発電所の事業収支最大化の両立を図ります。また、自社の監視オペレーションセンタにおける設備の常時監視と、全国に展開する保守拠点を活用した24時間365日の駆付け体制により、発電所と蓄電池の一元的な監視と運用を行います。

NTTアノードエナジーは、本事業を通じて併設蓄電池を活用した市場連動型運用モデルの高度化を進めるとともに、環境価値のタイムシフトによる新たな価値創出を図り、再エネの主力電源化を通じた脱炭素社会の実現と、社会全体のエネルギー課題の解決に貢献してまいります。

### 併設蓄電池による電力のタイムシフトのイメージ



### 併設蓄電池の提供価値

発電事業者のメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 出力制御影響の低減</li> <li>➢ 収益機会の拡大</li> </ul>
電力系統への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 需給バランス安定化</li> <li>➢ 需給変動の緩和</li> </ul>
社会的価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 再エネの有効活用</li> <li>➢ 再エネの主力電源化</li> </ul>

### 発電所および併設蓄電池の設備概要



F 臼杵太陽光発電所及び F 臼杵 II 太陽光発電所全景



F 臼杵太陽光発電所における併設蓄電池



F 臼杵Ⅱ太陽光発電所における併設蓄電池

**〔基本情報（2発電所共通）〕**

設置場所 : 大分県臼杵市  
事業者 : NTT アノードエナジー株式会社  
FIP 運用開始 : 2026年2月  
蓄電池種類 : リチウムイオン電池

## F 白杵太陽光発電所

〈太陽光発電設備〉

PCS 出力 (AC) : 1,999kW  
パネル容量 (DC) : 2,700kW  
発電開始日 : 2014 年 3 月 7 日

〈併設蓄電池〉

PCS 出力 : 1,999kW  
公称容量 : 5,994kWh

## F 白杵Ⅱ太陽光発電所

〈太陽光発電設備〉

PCS 出力 (AC) : 1,320kW  
パネル容量 (DC) : 1,481kW  
発電開始日 : 2015 年 11 月 18 日

〈併設蓄電池〉

PCS 出力 : 1,320kW  
公称容量 : 3,996kWh

本事業は「令和 6 年度 需要家主導型太陽光発電・再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支援事業費補助金」の採択を受けております。

[注]

※1: FIT 制度とは、再生可能エネルギーで発電した電力を、国が定めた固定価格で、一定期間、電力会社が買い取ることを義務づける制度です。

※2: FIP 制度とは、再生可能エネルギーで発電した電力について、市場価格等を参照した売電収入に、一定のプレミアム (補助額) を上乗せする制度です。

●本リリースは、NTT グループが展開する GX ソリューションブランド「NTT G×Inno (エヌティティジーノ)」<sup>※</sup>の取り組みの 1 つです。



URL: <https://group.ntt.jp/group/nttgxinno/>

※ 「NTT G×Inno」は、NTT 株式会社の登録商標です。

「NTT GX (Green Transformation) × Innovation」の略称であり、社会へのソリューション提供を通じて GX 分野で Innovation(変革)をおこし、2050 年カーボンニュートラルの実現に貢献していく取り組みです。